

自然

町の位置及び地質・気象

大口町は愛知県の西北部にあり、犬山扇状地の東南部に位置する「木の葉」の形をしたまちです。東西約3.6キロメートル、南北約6.1キロメートル、総面積は13.61平方キロメートル。海拔40メートルから海拔15メートルのゆるやかな傾斜になっており、地質は木曾川からの土砂の堆積による沖積層をなし、耕作に適したものとなっています。

大口町は、年間を通じて比較的温暖で降雨量も適量といえます。

しかし、冬場は冷たく乾いた北西風「伊吹おろし」が吹くため、気温以上の寒さを体感します。



町の木 もくせい

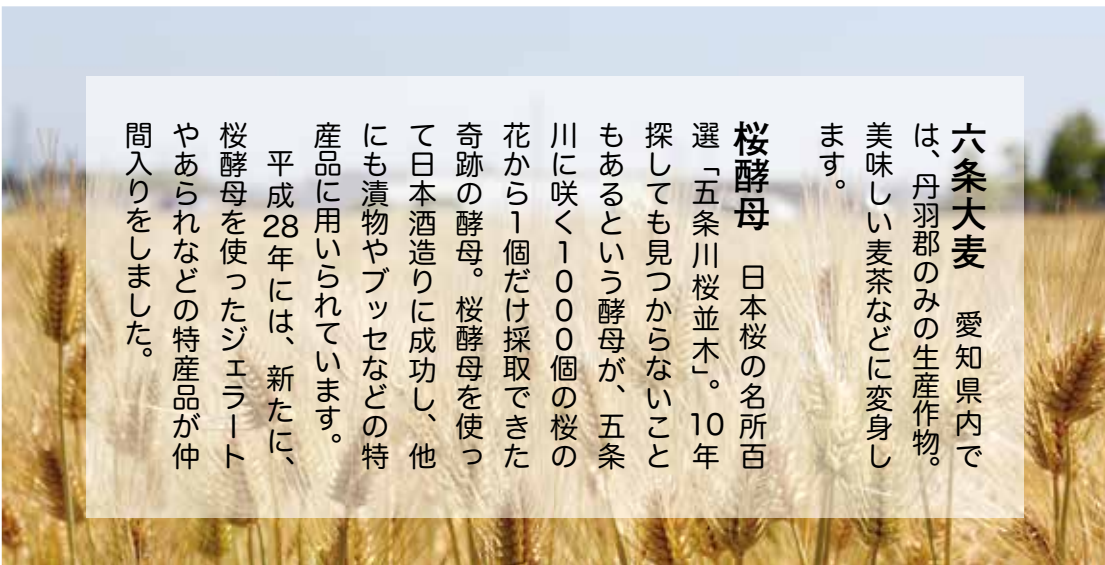


町の花 さくら

作物・特産品



1. 桜酵母五条川桜おおぐち 2. ジェラート(麦茶・桜) 3. 酒粕ブッセ おおぐち酒浪漫 4. 麦茶五条川
5. 奈良漬 6. 桜口(おおぐち) サプレー 7. さくらあられ・麦茶あられ 8. 山姫五穀サブレ
1・3・5・6・8は、ふるさと寄附の返礼品としても活用しています。



六条大麦 愛知県内では、丹羽郡のみの生産作物。美味しい麦茶などに变身します。

桜酵母 日本桜の名所百選「五条川桜並木」。10年探しても見つからないこともあるという酵母が、五条川に咲く1000個の桜の花から1個だけ採取できた奇跡の酵母。桜酵母を使って日本酒造りに成功し、他にも漬物やブッセなどの特産品に用いられています。

平成28年には、新たに、桜酵母を使ったジェラートやあられなどの特産品が仲間入りをしました。

文化 史跡



はっけんしゃ
八劔社拝殿（堀尾跡）

幕末の文久3(1863)年に再築されたもので、明治35(1902)年に修理を受けていますが当初の部材を比較的良好に残しています。彫刻は妻側に竜と唐獅子、桁側に狩獵図や騎旅図など何かの古事・物語の状景が展開されています。



おぐち
小口城址公園（城屋敷）

小口城の歴史的な移り変わりや出土品などを紹介する「展示棟」、小口城からの眺望を再現する「物見櫓」、歴史的情緒あふれる「門・堀・橋」が皆さんを戦国時代へと誘います。



にしよの
仁所野遺跡（下小口）

白山神社境内を中心に弥生時代から古墳時代の墳墓群があり、昭和35(1960)年6月8日に大口町指定文化財第1号となりました。



鑄鉄地蔵菩薩立像（汗かき地蔵）

長松寺のご本尊で県の指定文化財です。世の中に異変がある時や、信者が災難にあった時には必ず多くの汗をかくといわれています。



とくりんじ
徳林寺山門・中門（余野）

山門は、犬山城の第一黒門を明治9(1876)年に移築したもの。山門の奥に見える中門は文明7(1475)年、小口城主織田広近によって建立されたと伝えられています。